

音響データによるサクラエビ資源量 推定手法の開発

(予算区分 外部資金 研究期間 2025 年度～)

担当：水産・海洋技術研究所 資源海洋科 門奈憲弘・武藤 滉

【研究の背景とねらい】

- 駿河湾、清水港を活かした海洋研究・産業の拠点形成を加速させるため、駿河湾海洋 DX プロジェクトとして静岡市、静岡県、関係大学、企業等が推進体制を構築し、連携して取り組んでいます。
- サクラエビの個体群動態や資源量を推定するため、計量魚群探知機により取得したサクラエビ群の音響データの解析を行います。

【これまでに得られた成果】

(2025 年度までの成果)

- 沿岸・沖合漁業指導調査船駿河丸による調査を 2025 年 6 月、10 月、1 月、2026 年 3 月の計 4 回実施しました。
- 計量魚群探知機により取得したサクラエビ群の音響データを用い、東京海洋大学と共同でサクラエビ識別基準を決定しました。

【期待される成果】

- データの取得・解析によりサクラエビ資源量を正確に推定することで、適切な資源管理及び資源の持続的利用に資することができます。

【今後の計画】

- 引き続き、沿岸・沖合指導調査船駿河丸による調査を実施します。
- 取得したサクラエビ群の音響データを解析し、漁期前の資源量を推定するための手法を開発します。

(作成 2026 年 4 月)